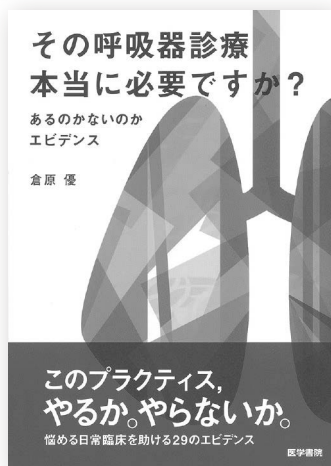




その呼吸器診療 本当に必要ですか？

あるのかないのかエビデンス

倉原 優＝著

本体 4,200 円＋税／A5 判・336 頁／医学書院／2019

本特集にて「咳・痰」(p.1191)の非薬物療法をご執筆の倉原優先生による好評書。呼吸器領域の日常臨床で、正論だと思われる診療の常識に対し、果たしてその診療は本当に必要なものなのか？ ひょっとしたら不要ではないのか？ そうしたグレーゾーンの 29 テーマをピックアップして、著者らしい切り口で論を展開。エビデンスに基づき、終末期医療などさまざまな意見が共存するテーマについても、現状の知見やデータを提示した。臨床現場で悩める若手呼吸器科医・内科医・ジェネラリストに向け、今後の診療において進むべき道筋を照らす 1 冊。



COPD の教科書

呼吸器専門医が教える診療の鉄則

林 清二＝監修

倉原 優＝著

本体 4,200 円＋税／A5 判・348 頁／医学書院／2016

同上・倉原先生による好評書。COPD（慢性閉塞性肺疾患）のすべてがわかる読み物的な要素の詰まったテキスト。COPD は、日本でも 500 万人以上が罹患していると言われている呼吸器疾患の・コモンディーズ。本書は COPD に携わる医療従事者向けに、新進気鋭の呼吸器専門医の視点からできる限りわかりやすく、かつ楽しく読み進められるようにまとめられている。また、治療に重きが置かれ、COPD 診療はこの 1 冊で完結できる。